

AD ALTIORA SEMPER AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学図書館報 第14号

エジンバラ大学図書館

INFORMATION

神戸市図書館情報ネットワークシステムの更新について

編集後記

OPAC が使いやすくなりました。

エジンバラ大学図書館 (Main Library)

和田 四郎

スコットランドの首都エジンバラは 1582 年、時の王 King James VI が与えた Charter により City として認可され、大学はその翌年市によって創設された。James VI はエリザベス一世によって処刑されたスコットランド女王 Mary の子供で、後に James I として England 王になった人物であり、Authorized Version でも知られている。John Knox によるスコットランドの宗教改革は 1560 年頃であるから、宗教改革とエジンバラ市の発達、そして大学の創設は関連性があるのであろう。当時の面影を色濃く残す石の街の重厚さは一切の人為的な装飾や構造物、虚飾を頑固に拒否している。大学の多くの施設はその旧市街 (Old Town) 側に散在し、saltire に thistle をあしらった青いプレートに気がつかなければ古ぼけた flat が黒光りの石畳の道沿いにあるだけである。

しかし同じ旧市街の George Square 周辺は雰囲気が一変し、ひときわ聳え立つ 14 階建 (以下日本式) の David Hume Tower、それを バタンと倒したような 4 階建の Adam Ferguson Building など、その冠した名称に似つかわしくない無機的なコンクリートの塊が目飛び込む。景観論争の末建設されたこれらのビルであるが、わずか 50 年ほどで既に疲れが見えているのも皮肉である。1968 年に建設された図書館(Main

Library)もそのような建物の一つである。地上7階、地下1階建であるが、裏側からは8階建となる。目分量では外大の研究棟を横に3棟ほど、縦に2棟ほど並べた大きさに相当すると思われる、かなり大きな建物であるが、300年という石の建物に隣接すると、その図体も大きさを感じさせない。

大学図書館の歴史は大学よりも古く、ある法廷弁護士(advocate)が276冊を寄贈した1580年に遡る。当初このような卒業生の寄贈(卒業できなかった者は金銭)などに頼っていたという蔵書は、主として人文関係の書籍を収めている Main Library で240万冊、雑誌を含めすべて開架式である。各階四方の窓際に机や typing carrel、そしてパソコンが置かれ、中央部に並べられた書架が見事な遠近法の構図をなしている。本のチェックは厳重で、今は検知器となっているが、昔は必ず鞆の中まであけて調べられたものである。しかしその warden たちがいずれも独特の味と風格を持ち、学生達もすすんで鞆を預けていた。開館は学期中は9時から22時まで(金、土曜日は9時から17時)、日曜休日は12時から17時である。休暇中は平日のみ9時から17時(水曜日は22時)の reduced service となり、週末は閉館である。しかし、長期の閉館も夏季と冬季のそれぞれ一週間に分散しているのは利用者も納得する。貸出は Standard loan は3ヶ月、Short loan は1週間、返却期間を過ぎると前者については一日50p(約100円)、後者は1ポンド(約200円)の延滞金が課され、筆者も何度か微笑みと交換に徴収された。

スコットランドは常にイングランドを意識せざるを得なかった。それは当然蔵書にも反映している。土着の言語 Gaelic をほとんど失った今、Scottish とその歴史の研究には不可欠の古英語、中英語関係の文献、辞書類は充実し、また The National Scottish Dictionary (全10巻)は色も装丁も OED を意識しているのは明らかである。第三者の目には English の一方言と見える Scottish であるが、スコットランドでは言語的にも独自の言語と考える人が少なくない。一昨年ロンドンからの devolution を達成したことによりその気運はますます強まるであろう。今は大学本部として使用され、エジンバラでも最も美しい建物の一つである Old College (1789年)の「エジンバラ大学はスコットランド第4の大学であるが、当時イングランドにはわずか2大学しかなかった。」という言葉は象徴的である。(Main Library のホームページは www.lib.ed.ac.uk)

(本学教授)



神戸市図書館情報ネットワークシステムの更新について

本学では 1995 年に、神戸市立中央図書館、神戸ファッション美術館との共同開発により、初めて図書館業務システムの「神戸市図書館情報ネットワークシステム」を導入しました。導入以来 5 年を経過したため、システムの内容を大幅に更新し、2001 年 1 月から新システムの稼働を開始しました。

以下、新システムの特徴について説明します。

1．NACSIS-新 CAT への対応

NACSIS-CAT（目録所在情報サービス）とは、国立情報学研究所が提供するオンライン共同分担目録方式によって全国規模の総合目録データベース（図書/雑誌）を形成するためのシステムで、2001 年 1 月現在で全国 850 の図書館が参加し、5,000 万件を超える所蔵データを有するシステムとなっています。

本学の旧システムも NACSIS-CAT に参加していましたが、コンピュータ技術の著しい技術革新などを背景として国立情報学研究所が従来の方式による接続サービスを新方式に更新することとなり、それぞれの参加館でも対応が求められていました。

この状況を踏まえて、今回の新システムでは NACSIS-新 CAT に対応したシステムを構築しました。

2．データベースの更新

旧システムのデータベースは、閲覧系が Sybase を、目録系が Objectivity を利用していましたが、今回のシステムでは共に Oracle を利用することとし、データベースの構造の単純化、作業の簡略化を図りました。

3．ハードウェアの更新

今回のシステムでは、ハードウェアを更新するにあたり、サーバ・クライアントともに Linux を OS とする PC/AT 互換機により構築することにより、大幅に経費を削減することができました。

4．利用者蔵書検索システム（OPAC）

旧システムの OPAC はタイトル・編著者名による巻物形式でしたが、新システムでは、利用者がタイトル・編著者名・件名・フリーワード等の項目を入力し検索ができる使い勝手のよい形式としました。

また、インターネット、i-mode 等の携帯電話から蔵書検索ができるようになりました。



(前頁からつづく)

以上の他にも改良された点は多々ありますが、今後とも大学図書館を巡る高度情報化に対応し、利用者の声を反映しながら、システムの改良を図っていきたいと考えています。

(図書館主査 情報処理担当 大西宏)

OPAC が使いやすくなりました。

神戸市図書館情報ネットワークシステムの更新(2001年1月)に伴い、OPAC が新しくなりました。従来のものに比べ容易に、効率的な検索をすることが可能になっています。ここでは、新しいOPAC の主な変更点を中心に、簡単な使い方を説明します。

1. インターネットへの対応

従来のOPAC の検索は、図書館内に設置された端末からのみ可能でした。新しいOPAC はインターネットに接続できる環境があれば、どこからでも蔵書検索ができます。また、i-mode に対応し、携帯電話からの蔵書検索も可能になりました。

URL :

<http://opac.lib.kobe-cufs.ac.jp/> または <http://opac.lib.city.kobe.jp/>

<http://opac.lib.kobe-cufs.ac.jp/i/> または <http://opac.lib.city.kobe.jp/i/> (i-mode 対応)

2. 検索方法の変更

項目の入力

従来はタイトル(もしくは著者名)の50音順に並んだリストをスクロールする方式でしたが、新しいOPAC は各項目を入力する方式になりました。探している図書のタイトルや著者の名前の一部から検索できます。

また、タイトルと著者名以外の検索項目と、検索結果を絞り込むための項目を追加したことにより、これらを組み合わせたより効果的な検索が可能になりました。

件名からの検索

増設された検索項目の中でも、最も大きな変更点は、件名からの検索ができるようになったことです。図書の内容をターゲットにした検索をすることができます。

例えば、方言に関する本を探したい時に、これまではタイトルに「方言」という言葉が使われている図書しか検索できませんでしたが、件名に入力することによって、方言について書かれた図書を検索することができます。

OPAC 検索画面

神戸市図書館情報ネットワーク詳細検索OPAC



[操作方法ヘルプ](#) [新着図書案内](#)

検索した資料について

ご利用の際には、各図書館で利用条件が異なりますので、あらかじめお問合せください。

検索 [簡易検索画面へ](#)

- 検索館:
- | | | | |
|---|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> すべての図書館 | <input type="checkbox"/> 神戸市外国語大学図書館 | <input type="checkbox"/> 神戸ファッション芸術図書館ライブラリー | <input type="checkbox"/> 神戸市看護大学図書館 |
| <input type="checkbox"/> すべての市立図書館 | <input type="checkbox"/> 神戸市立中央図書館 | <input type="checkbox"/> 東灘図書館 | <input type="checkbox"/> 灘図書館 |
| <input type="checkbox"/> 三宮図書館 | <input type="checkbox"/> 兵庫図書館 | <input type="checkbox"/> 北図書館 | <input type="checkbox"/> 北神分館 |
| <input type="checkbox"/> 新長田図書館 | <input type="checkbox"/> 須磨図書館 | <input type="checkbox"/> 垂水図書館 | <input type="checkbox"/> 西図書館 |

タイトル:

編著者名:

出版社:

件名:

フリーワード:

分類:

請求記号:

ISBN:

ISSN:

*「検索館」と以下の項目は絞込み条件として使用してください。(単独での検索はできません。)

出版地:

出版年: 半角4桁 から まで

資料タイプ:

言語:

成児区分:

検索結果表示件数:

3. その他の新しい機能

- ・貸出状況の表示

探す資料が借りられているかどうかを確認できます。返却予定日を知りたいときは、カウンターでお尋ねください。

- ・検索館の指定

従来通り、外大図書館の外に、神戸市内の公共図書館、神戸市看護大学図書館、神戸ファッション美術館ライブラリーの蔵書を検索できますが、検索する対象として個々の図書館を選択できます。

- ・新着図書案内

過去2週間に受入された図書のリストを見られます。

- ・簡易検索

項目を意識することなく、自由にキーワードでの検索ができます。

Etc.

新しいOPACをどうぞご利用ください。
分からないことがあれば、
気軽にカウンターへお尋ねください。



<< ご注意ください >>

検索対象の資料について

現在、新しく受入されるものはほぼすべて登録されていますが、書庫内の古い資料、ロシア語、中国語資料等の一部は登録されていないため、OPACによる検索はできません。全蔵書を網羅的に検索する場合はカード目録もあわせて検索してください。また、雑誌・紀要については雑誌検索マシン、もしくは冊子体目録から検索してください。

外大以外の図書館の利用について

神戸市図書館情報ネットワーク参加各館の利用条件はそれぞれ異なります。操作方法ヘルプの中の「検索対象」の項をご覧ください。より詳しいことはカウンターでお尋ねください。なお、公共図書館の資料については次ページも参照してください。

検索結果の表示件数について

検索結果が、設定されている表示件数（上限）を超えた場合にはすべての結果を表示できません。表示件数を増やすか、検索条件を変えて再度検索してください。

INFORMATION

視聴覚ライブラリー

夏期休暇中の開室時間について

夏期休暇中に、AV 教室・視聴覚ライブラリー内の機器類の保守点検、および各種教材の整備を行いますので、開室時間、開室日については下記のとおりとなります。

開館時間：午前 9 時 ~ 午後 0 時 30 分

午後 1 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分

開室日：8 月 1 日(水)~10 日(金)、9 月 3 日(月)~28 日(金)

(ただし土、日曜日及び祝日は閉室)

図書館

夏期休暇中の開館時間について

通常の期間と異なりますので、ご注意ください。

開館時間：午前 9 時 ~ 午後 4 時 30 分

(ただし集中講義期間は午後 7 時 30 分まで開館します。)

閉館日：土、日曜日及び祝日

8 月 11 日(土)~20 日(月) 蔵書点検期間

* 9 月 20 日(第 3 木曜日)は午後 5 時まで閉館、午後 7 時 30 分まで開館します。

* 詳しくは図書館ホームページ、図書館内掲示板の開館カレンダーをご覧ください。
カウンターにも用意しています。

夏期休暇中の長期貸出について

実施期間：7 月 9 日(月)~9 月 19 日(水)

所属	冊数	返却期限
1,2 回生	7 冊まで	2001 年 10 月 4 日(木)
3,4 回生	10 冊まで	
院 生	20 冊まで	

* 院生は 9 月 7 日(金)以降の貸出分の返却日は 4 週間後になります。

公共図書館との相互貸借サービス開始

6 月 1 日(金)より、外大図書館を通じて神戸市内の公共図書館から資料の借用ができるようになりました。OPAC で外大図書館に所蔵がないこと、公共図書館に所蔵されていることを確認の上、カウンターでお申し込みください。

編集後記

国立情報学研究所(NII)を核とする“Inter Library Loan”のシステムが、加盟大学図書館の相互利用の制度を大きく変化させたように、技術革新の著しいITの世界では、技術の進歩が制度を踏み越えてしまうということが起こることも珍しくありません。

6月1日から実施の運びとなって、既に利用もされている神戸市立中央図書館と本学図書館との相互貸借制度も、神戸市図書館情報ネットワークを構成する各館蔵書のOPACによる横断検索が、今回のシステム更新によって実現されたことによるところが大きいと言えます。

技術が利用者にとってより良い制度を生み、また新しく生まれた制度が新たな技術の革新を促すといった良い意味での相互革新のなかで、常にそれを支えるのが、当然とはいえ「人的ネットワーク」なのだということの重要性も忘れないようにしたいものです。

編集責任者：図書館事務長 牛原秀治



AD ALTIORA SEMPER No.14
神戸市外国語大学図書館報

編集・発行：神戸市外国語大学図書館
〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
TEL：078-794-8151 / FAX：078-797-2257
E-MAIL：info@lib.kobe-cufs.ac.jp
URL：http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/

2001年6月29日発行

発行責任者：図書館長 大塚秀之
